

平成 29 年度事業計画書

NPO 法人 NEXT CONEXION

(1) 事業方針

平成 29 年度は、「体験型主権者教育のモデルづくり」を事業方針とする。昨年 18 歳選挙が始まり、社会においても主権者教育への関心が高まった 1 年であった。一方で、主権者教育とは「模擬投票や選挙のルール」についての授業というイメージが強く、本来の一市民・一主権者として子ども達をどのように育てていくかというところまでは行きついていない印象がある。同時に、主権者教育へは、選挙以外の期待も高まっているように感じている。

NEXT CONEXION では昨年、NEXT CONEXION の教育プログラムを受講した中高生によるグループを作り、主体的な活動を行った。このことは、主権者教育が単なる選挙の授業ではなく、取り組み方によっては非常に大きな教育効果を持っていることの表れである。そこで、体験型の主権者教育のモデルを作り、新たな主権者教育のモデルを提示したいと考えている。

(2) 事業概要

事業	事業名	実施内容等
学びづくり	civic / よのなかレッスン	こどもが社会の仕組みをたのしく学ぶ教育プログラムを実施します。
	出前講座	教育機関等に赴き、出前講座を実施します。
よのなかづくり	こどもタウン	こどもが社会の仕組みをたのしく学ぶ体験プログラムを実施します。
	Voters Bar Kids	日頃政治に直接かかわる仕事をしている方と交流をし、政治を身近に感じるイベントを実施します。
	啓発活動	中高生から社会活動に関するテーマを募集し、啓発する企画を実施します。
行政機関等からの委託		選挙管理委員会や明るい選挙推進協会など、行政機関などからの事業を実施します。

(3) 個別事業について

① 学びづくり事業（年 20 回）

● civic / よのなかレッスン

主に小中高生を対象に、社会の仕組みをたのしく学ぶ教育プログラムを実施します。これまで事務所で月に 1 度行ってきたもの以外にも、行政機関やまちづくり協議会などと連携し、実施範囲を広げていきます。また、大学生・中高生の研修としても活用していきます。

- 出前講座（年 30 回）

教育機関等に赴き、出前講座を実施します。内容については、依頼者と協議をし、決定をします。

- ② よのなか作り事業

- こどもタウン（年 3 回実施）

小学生を対象に、社会の仕組みをたのしく学ぶ体験プログラムを実施します。実際の社会を再現し、子ども達が街での活動を体験しながら社会問題に触れる機会を作ります。担当は、NEXT CONEXION の教育プログラムを受講する中高生（YOUNG CONEXION）を中心に実施をします。参加する小学生は、社会参画のきっかけづくりが、主催する中高生はこれまで NEXT CONEXION や学校で学んだことのアウトプットをする中で教育効果を高めることが狙いです。

- Voters Bar Kids（年 2 回実施）

小中高生を対象に、政治に触れる機会を作るプログラムを実施します。選挙権年齢が引き下がり、18 歳から選挙に行けるようになりましたが、生の政治に触れる機会は多くありません。また、異世代が一堂に会し、社会について話す機会もなかなかありません。そこで、日頃から政治に関わっている方にご参加いただき、交流会を行います。

- 啓発活動（年 2 回程度）

NEXT CONEXION に参加するこども達（大学生を含む）が、自発的に社会活動を行えるようサポートをします。シティズンシップ（主権者）教育は、プログラムを受講するだけでなく、行動を起こすことでさらなる効果があると考えています。そこで、年に 2 回程度法人内でアイデアを募り、いいアイデアを実現に向けてサポートする取り組みを行います。補助金申請など、費用面などもすべて自分たちで企画運営を行います。

- ③ 行政機関等からの委託事業

行政機関等からの事業の委託を受け、事業を行います。

- ④ その他の業務

今年度は特に考えていません。

以上